

学科を閉じるに際して

科長 村野宣男

短期大学は、日本がサンフランシスコ条約に調印し、戦後の占領下から解放された3年後、昭和27年（1952）に設立されました。英語コミュニケーション学科の前身、英語英文科は東京オリンピックが開かれた2年前の昭和37年（1962）、高度経済成長の端緒に設置されております。以後今日にいたるまで44年間（その間19年は湘南キャンパス）約半世紀に及ぶ間、100名を越える教員、卒業生7241名の人々が去来致しました。暖房もおぼつかない貧しい時代から、誰もがコンピューターを操る時へと著しく社会の相貌は変わりましたが、教員と学生の知と心の触れ合いは常に新鮮に豊かに続けられてきました。しかし、今、残念なことに時代によってその生命が断ち切られることとなります。すでに亡くなられた方々へは冥福を祈り、諸先生方へは感謝の意を表し、卒業生には幸多きことを願います。

『英米学研究』は1965年に創刊され、38号で最終を迎えることとなります。総目次と諸先生方の思い出のメッセージを加えることと致しました。